議事 1 校区再編について

(1) 校区問題の整理(方向性、課題等)

問題点の区分				問題の内容 (例)	主な該当校 (目安)	現時点で 優先度が 特に高い 項目	問題解決の方法また は方向性	左の問題点、課題等
学校規模の問題 ※ 本質的には校区 問題ではないが、 解決手段として校 区を考えざるを得ない。	過小規模校	A 1	小規模化により教育上の問題が発生する (または懸念される)場合	児童生徒が減少し、学校として成り立たなくなる恐れがある。 児童生徒数が少ないことで様々な問題点(部活・行事等)が懸念される。 交友関係の狭さなどにより健全な発育が阻害される懸念がある。	神戸小(4学級 34名)	©	①学校統合 ②小規模のまま存続	小規模校のメリット(少人数教育)があることや、また小規模校存続のための施策を講じてきたことをどう整理し転換するのかが課題。 関係者の意向を確認する必要がある(保護者かどうかで立場が異なる可能性もある)。 統合により通学距離の問題が発生するので、それを克服する必要がある。 施設が対応できるかどうか。 地域の衰退につながる。
							③地域に判断を委ねる	保護者の統合の要望に対してどう応えるか 地域内での対立や混乱をもたらす可能性がある。 市としての統一した考え方を持ってリードすべきではないか。
	過大規模校	A 2	大規模化により教育上の問題が発生する (または懸念される)場合	児童生徒(クラス)が多すぎ て目が行き届かなくなる。	現時点では該当なし		校区の見直し 学校の分割・再編	
		A 3	増築など施設整備の必要があるものの、 整備が困難である。	教室が不足したり、体育 館、グラウンドなどの利用 に支障をきたす。	南中 ※ 但しまだ状況が明確でなく推 移を見極める必要がある。		校区の見直し 施設面の措置 (仮設校舎など) 学校の分割・再編	
通学に関する問題		В 1	通学距離・時間が長い。	通学の負担が大きい。	特になし		校区の見直し 通学手段の検討	
		B 2	通学路に危険な箇所・要素がある。 (交通量の多い道路、橋、踏切、歩道等)	通学上の危険がある。	城北小 (八千代橋) など。	Δ	校区の見直し 通学手段の検討	重要性(見直しの必要性)を十分検討する必要がある。
		В 3	通学手段を検討すべき箇所	公共交通がなく、スクール バスの導入が必要である等	特になし (鹿野町の一部でスクールバスを 運行している)		通学手段の検討	
適正配置		C 1	現在の学校より近くに別の学校があり保 護者などから要望や苦情がある	近くの学校の方が便利であ り通学も安全だが、校区が 定められている。	雲山地区(米里小) 南城北団地(城北小、北中)	0	校区の見直し 校区外就学の措置	保護者や住民の意向を十分把握し、自治会との協議を行いながら進めていく必要がある。 関連する学校や地区の意向が一致しない可能性がある。
		C 2	校区と自治会が整合しない地域	自治会活動や子供会の活動 に児童が参加しにくい。 自治会から校区変更の要望 がある。	徳吉、徳尾など 上段、上原など その他	0	校区の見直し	校区・自治会区域のどちらを変更しても負担をもたらす
		С 3	中心市街地の狭い範囲に学校がある	至近距離にある学校は統合 すべき (新市と比べ校区が 狭く不公平だ)。	遷喬小、醇風小、久松小など		校区の見直し、統合	通学や教育環境の面で問題がなければ見直す根拠がない (合理化より教育論を優先すべき)。 小規模校の問題についてはA1として扱う。
		C 4	その他地区からの要望がある	町内会からの校区変更要望	天神町の一部(棒鼻地区に 属する区域)など		校区の見直し	町内会単独の意向ではなく、当該自治会の総意としてま とめられた要望にしてもらうよう促す。